

2005年12月21日

東日本旅客鉄道株式会社
東京モノレール株式会社
東京臨海高速鉄道株式会社
パスネット・バス連絡協議会
株式会社パスモ

2007年3月 SuicaとPASMOは、相互利用サービスを開始します。 ～首都圏の交通機関のシームレスなご利用を実現します～

- 東日本旅客鉄道(株) (以下「JR東日本」)、東京モノレール(株)、東京臨海高速鉄道(株)と(株)パスモ(以下「パスモ」)は、2007年3月より順次、お互いのご利用可能エリアを乗り降りできる「IC乗車券の相互利用サービス」を開始します。
- これにより、首都圏のJR・公民鉄をはじめ路線バスなどにも1枚のIC乗車券でご乗車いただけます。(利用可能な交通事業者は別表参照)
- この「IC乗車券の相互利用サービス」にあわせて、子ども用SFカードなど新たなサービスを開始します。(「相互利用サービス」の概要は別紙参照)
- 電子マネーの発行事業者であるJR東日本とパスモは、電子マネー事業においても提携し、2007年3月よりお互いの加盟店でご利用いただける「電子マネーの相互利用サービス」を開始します。
- JR東日本とパスモは、交通分野と電子マネー分野における「相互利用サービス」を通じて、首都圏における「シームレスな移動」と「利便性の高い決済手段」を提供し、首都圏の「新しいライフスタイル」の構築に貢献してまいります。

() (株)パスモは、法令に基づき申請中です。

首都圏発。日本が変わる。
乗り物、買い物、これ一枚。



「シームレスな移動」
+ 「利便性の高い決済手段」

= 「新しいライフスタイル」

【交通乗車券】
首都圏のJR・公民鉄・路線バスなどが
乗り降り可能に！

【電子マネー】
Suica・PASMOの電子マネー加盟店で
ショッピングが可能に！



別 表

首都圏交通 IC カード 利用可能交通事業者一覧

S u i c a (鉄道・バス事業者：6 事業者)

埼玉新都市交通 東京モノレール 東京臨海高速鉄道 東日本旅客鉄道
 ジェイアールバス関東 仙台空港鉄道

P A S M O (鉄道事業者：26 事業者)

伊豆箱根鉄道 江ノ島電鉄 小田急電鉄 京王電鉄 京成電鉄
 京浜急行電鉄 埼玉高速鉄道 相模鉄道 首都圏新都市鉄道 新京成電鉄
 西武鉄道 多摩都市モノレール 東京急行電鉄 東京地下鉄 東京都交通局
 東武鉄道 東葉高速鉄道 箱根登山鉄道 北総鉄道 ゆりかもめ
 横浜高速鉄道 横浜市交通局 横浜新都市交通
 関東鉄道 千葉都市モノレール 舞浜リゾートライン …ICカードシステム導入時期は未定

P A S M O (バス事業者：73 事業者)

伊豆箱根鉄道 1 江ノ島電鉄 1・2 小田急バス 神奈川中央交通 2 川崎市交通局
 川崎鶴見臨港バス 2 関東バス 2 京王電鉄バス 2 京成バス 2 京浜急行バス 2
 国際興業 相模鉄道 1・2 西武バス 2 立川バス 2 千葉交通
 東急バス 東京都交通局 1 東武バスセントラル 2 西東京バス 2 箱根登山バス 2
 日立自動車交通 富士急行 2 船橋新京成バス 2 平和交通 2 山梨交通
 横浜市交通局 1

1…鉄道・バス両事業においてIC乗車券システムを導入する事業者

2…利用可能路線には、次のグループ会社の路線も含まれます。

江ノ島電鉄（江ノ電バス）

神奈川中央交通（湘南神奈交バス・津久井神奈交バス・横浜神奈交バス・相模神奈交バス・藤沢神奈交バス）

川崎鶴見臨港バス（臨港グリーンバス）

関東バス（ケイビーバス）

京王電鉄バス（京王バス東・京王バス南・京王バス中央・京王バス小金井）

京成バス（千葉中央バス・千葉海浜交通・千葉内陸バス・東京ベイシティ交通

ちばフラワーバス・ちばレインボーバス・ちばシティバス・ちばグリーンバス

京成タウンバス・京成トランジットバス・市川交通自動車）

京浜急行バス（羽田京急バス・横浜京急バス・横須賀京急バス）

相模鉄道（相鉄バス）

西武バス（西武自動車・西武観光バス）

立川バス（シティバス立川）

東武バスセントラル（朝日自動車・茨城急行自動車・国際十王交通・川越観光自動車・東武バスイースト・東武バスウエスト）

西東京バス（多摩バス）

箱根登山バス（小田急箱根高速バス）

富士急行（富士急湘南バス・フジエクスプレス・富士急山梨バス・富士急平和観光・富士急シティバス・富士急静岡バス）

船橋新京成バス（習志野新京成バス・松戸新京成バス）

平和交通（団地交通）

バス事業者のICカードシステム導入については、2007年3月から順次導入・拡大してまいります。具体的な導入計画については、各事業者で検討中ですので、詳細が決まり次第、別途ご案内いたします。

合計 105 事業者(鉄道・バス兼業事業者を除いた合計は、100 事業者)

『相互利用サービス』の概要

. 主なサービス

(1) 鉄道における利用

自動改札機にIC乗車券をタッチすることで、自動的に運賃を差し引きます。

- 定期区間外から乗車した場合や定期区間から乗り越した場合にも、自動的に運賃を計算し、精算金額を差し引きます。

(2) バスにおける利用

バスの車載機にIC乗車券をタッチすることで、自動的に運賃を差し引きます。

(3) 定期券の発行

鉄道およびバスの定期券を発売いたします。

- 鉄道では、事業者をまたがる連絡定期券も発売いたします。
- バス定期券のICカードでの発売は一部事業者でのみ実施いたします。

(4) チャージ

駅のICカード対応自動券売機やバス車載機などでチャージが可能となります。

- チャージの上限金額は2万円です。

これらのサービスは、「PASMO」¹、「Suica」²、「モノレールSuica」³、「りんかいSuica」⁴、および「ビュー・スイカカード」などの多機能カード、「モバイルSuica」⁵でご利用いただけます。定期券は、記念カードやSuicaイオカードなどには発売できません。

. 『相互利用サービス』とあわせてスタートする新サービス

(1) こども用SF(ストアードフェア)カード

- SFカードに「こども用」を設定します。自動改札機・バス車載機にタッチすることで、小児用運賃を自動的に差し引きます。
- 小児用定期券において、区間外から乗車した場合や区間外に乗り越した場合にも、自動改札機にて小児用運賃を計算し、自動的に精算金額を差し引きます。
- こども用SFカードは、氏名・性別・生年月日などの登録が必要です。

ストアードフェアとは、ICカード乗車券に記録される金銭的価値で、旅客運賃の支払い、乗車券類との引き換え、電子マネーに充当するものをいいます。

(2) 記名SFカードの設定

- 記名SFカードを設定します。記名SFカードには、氏名・性別・生年月日などの登録が必要です。
- 記名SFカードを紛失した場合には、カードの利用停止日の最終のSF残高を保証して再発行いたします。紛失再発行手数料などが必要です。

(3) オートチャージサービス

- SFの残額が予め設定した金額を下回った場合に、自動改札機にタッチすることで設定金額を自動的にチャージいたします。(一部ご利用できない駅があります。)
- オートチャージによるチャージ額はクレジット決済となります。
- オートチャージが利用可能なカードが必要です。

オートチャージサービスは、ビュー・スイカカードで2006年中に先行して開始する予定です。

(4) 新しいバスのサービス

- お客さまのご利用に応じた還元の仕組みを構築中です。運用面・適用面については、各事業者で検討いたします。

以上